

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波がほぼ収束し、来客数が全体的に増えている。宴会でみると、3か月前は会食時はアクリルボードをセットしていたが、9月に入ると、皆、コロナ禍の疲れなのか、ボードを外してほしいというリクエストが増えている。宴会件数も3か月前と比べて130%となっている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向で、週末のライブイベントの開催等もあり、来客数が回復傾向となっており、景気も回復傾向にある。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀依頼が非常に多い。また、遺品の運び出しや部屋の原状回復、墓じまい、粉骨等、いろいろと依頼があり、忙しい。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月2度の連休は台風の影響を受け、期待していたほどではなかったものの、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で、全体的に人出は良い。
	○	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・化粧品等、値上げ前の駆け込み需要がみられる一方で、一部食料品等の値上げによる買い控えもみられる。化粧品の駆け込み需要が売上全体を押し上げている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は4%増、来客数は同2%減となっている。県民割、自治体によるプレミアム付商品券の効果とコンサートイベントの増加で忙しくなっている。9月29日から10月2日までの大型会場コンサートの弁当を受注し、60万円以上の売上という仕事でとてもうれしい。ウィズコロナに向けて、少しでも新型コロナウイルス感染症の発生前の生活に戻りたい。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症がやや落ち着く傾向にあるので、家庭用の食料品の買上がやや上向いている。
	○	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・若干数ではあるものの、来客数増加の傾向がみられる。ただし、必要経費が事業所、家庭で増加している。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車供給は回復途上で、膨らんでいたバックオーダーも徐々に売上、納車につながってきている。中古車販売も品不足ながら増加傾向である。
	○	自動車備品販売店 (従業員)	単価の動き	・値上げの影響もあってか、客単価は前年実績を超えている。自動車の生産も徐々にではあるが進んできているため、売上は伸びてきている。
	○	その他専門店 [酒]（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がかなり減り、行動制限がほとんど掛からない状態になったことと、県民割等の宿泊キャンペーンの効果で、県外客も増えている。前年よりも良いと思うが、まだ、全体的には不安に感じている。
	○	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波も一定の収まりを見せてきたため、会食の機会も増えてきたようで、予約数が戻り出している。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・良いとはいええないものの、3か月前よりはいろいろなことが許されるようになってきている。
	○	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の状況に落ち着きが見られ、新型コロナウイルスオミクロン株対応のワクチン接種も始まっているため、やや良くなっている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・7～8月は最悪だったが、多少上向ってきている。ただし、宴会の動きはいまだに改善していない。
○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波による新規感染者数が減少していることと、9月末までが期限となっている県民割等の駆け込み需要によって、そこそこ忙しい状況である。公的支援による観光誘客政策が継続しているお陰で、夏から秋にかけては、新型コロナウイルス感染症の発生前の8～9割の売上まで回復してきている。	
○	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・来客数や旅行受注が少しずつ増加してきている。徐々に近距離から遠距離へ増加傾向で、全くなかった海外旅行の申込みや問合せも増加している。	

○	タクシー運転手	販売量の動き	・過去6か月をみてもみると、段々良くなってきている。前月は前年比123%で、今月は同127%くらいで落ち着きそうである。徐々に回復しているような気がする。
○	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・コロナ禍の行動制限をしないとの発表後、旅行する人が増加している。
○	設計事務所(職員)	来客数の動き	・依頼物件が多くなっていて、従業員1人が抱える物件数が増えている。
□	商店街(代表者)	来客数の動き	・お盆も終わり、2学期がスタートして、運動会等もぼつぼつと実施する学校が増えている。もう少し活気が出ると思っていたが、お盆前とほとんど変わらない。
□	一般小売店[家電] (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少なくなってきたが、長い間の自粛ムードに慣れてしまったのか慎重なのか、今一つ人の動きは出てこない。季節商材の動きも止まり、商材全体の動きはすこぶる悪い。全てといえるほど物が値上がりし始め、全く先が見えてこない。
□	一般小売店[家電] (経営者)	販売量の動き	・今月は台風等で天候不順が続いたために、物の動きが予想より悪い。
□	スーパー(経営者)	来客数の動き	・来客数は微減で、1品単価は若干上昇しているが、買上点数は維持している。
□	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・客単価が下がっていて、常連客の購入量が明らかに減っている。
□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・買い控えのせいなのか、人が動いていない。
□	家電量販店(店長)	来客数の動き	・世界情勢、円安、新型コロナウイルス感染症等、景気向上の兆しが無い。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備は月の目標に達し、車両販売も、新車納期の遅れについて客が既に承知した上での契約となっているため、現時点での売上には結び付かないが、契約、商談件数は多くなっている。
□	スナック(経営者)	お客様の様子	・具体的にこれというのはないが、ここ2～3年近く全国的に良くない。本当に客の動きがどうなっているか心配である。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数増加に伴い、急激に来客数が落ちていたが、今月からはキャンセルよりは予約や利用者数が増加してきている。また、新規感染者数の減少とともに、週末の利用が増加傾向にある。ただし、団体や法人利用は、回復傾向というには程遠く、まだ時間が掛かりそうである。
□	通信会社(社員)	販売量の動き	・前月に比べれば若干持ち直した感はあるが、低調であることには変わらない。大規模イベントも徐々に解禁されつつあるので、起爆剤としたい。
□	観光名所(職員)	販売量の動き	・観光客は着実に戻ってきているが、人件費削減のため来客数に十分対応できるほどまでの雇用は控えているので、繁忙時に対応できていない。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあることに伴って、3連休もあり客の動きは以前より活発な感じがする。しかし、団体予約は依然として厳しい。今後、新規感染者数の減少傾向が進めば、年末年始の予約も少しずつ戻ると期待している。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・新築別荘は建築資材の高騰等から総費用が従来の2～3割上昇しており、手控える動きがみられる。
▲	一般小売店 [薬] (経営者)	お客様の様子	・売上、来客数共に減っている。また、客からも、非常に景気が悪くなったとか物価高騰など、景気の悪い話を聞かされている。
▲	コンビニ(経営者)	単価の動き	・暑い時期が過ぎたこともあり、来客数が減ってきている。繁忙期も過ぎ、3か月前と比べると下降気味である。
▲	コンビニ(店長)	来客数の動き	・当店では、週末に来客数が増えて売上は上がる。ただし、こここのところは週末のピークがなくなってきており、今までのように売上が上がってこないなので、今月は以前と比べると、かなり厳しい。

	▲	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・台風や天候不順によるキャンセルが多い。近年、集中的な降雨が非常に多くなっている。また、原価率の高さもかなり気になるところである。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・コロナ禍に加えて、中心街にある百貨店の撤退報道で、これから先、中心街はどうなってしまうのだろうかと不安である。
企業 動向 関連	◎	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設関連の受注は順調だが、新型コロナウイルスの新規感染者数は余り減少していないので、心配である。
(甲信越)	○	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス感染症もやや落ち着きをみせており、人の流れも多くなってきている。ただし、1人当たりの購入価格は例年より低く、買い控えの傾向がみられる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注につながるまでに時間は掛かりそうだが、見積案件が増えてきている。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月より受注は若干減少しているものの、おおむね計画どおりに推移している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年の季節商材受注はあるものの、店頭販売品等の受注動向は、依然として低迷している。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造、非製造業共に、原材料価格上昇の影響が広がるなかでの円安の進展は、収益にも影響が出て、2極化が生じている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきており、観光客も徐々に戻りつつある。ただし、9月は週末や連休に重なる形で台風が発生したため、外出を控えるなど、観光業にとっては良くない状況である。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、前年9月は予定していた大型展示会が11月に延期して開催されたが、今年は9月に開催できたため、展示会売上分の上乗せがあり、前年比30%増加となっている。しかし、海外からのバイヤーが依然入国できなかったことで、本来の商談会売上ほどは戻っていない。新型コロナウイルスオミクロン株の影響がまだ残っており、卸、小売共に、仕入れは慎重で、ルートセールスは引き続き低迷している。
	×	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格は全て上がり、販売価格に転嫁できていない。多少の動きがあっても、利益が出ない。食品製造の仲間が、価格転嫁できないことを理由に、廃業することになってしまった。
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症の脅威はいまだあるものの、花火大会等の各地のイベントが2年ぶりに開催される等、新型コロナウイルス感染症の発生前の状況を取り戻しつつあり、宿泊業や観光地のサービス業等の求人が増えている。
	□	求人情報製作会社（総務担当）	周辺企業の様子	・特別何かを実感するような動きや話を聞かない。
	□	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・先行き不透明な新型コロナウイルスの感染動向や原材料不足、様々な物価高騰、円安等の影響を受けて、派遣やパートなどの需給調整的な求人が増えている。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・前年同月比で有効求人数は増加し、有効求職者数は減少するという傾向は3か月前と同様である。新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による人流が活発化したことで、飲食、宿泊、小売業等の求人も増えつつある一方で、雇用調整での休業を余儀なくされている企業もある。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・現状の超円安が今後の経済にどう影響するのか、不安ばかりが渦巻いている。原材料の仕入価格高騰に、拍車がかかっている。
	▲	—	—	—
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・購買意欲がまるでなく、週末の駅前をみても買物客がいない状況が続いており、小売業は悪い。業者に聞いても暇で仕方がないとの回答である。